

## 明石段丘ゾーン

### オニバスの風景が 広がるため池群

印南野台地の東部沿岸に位置し、南は明石海峡に面する地域です。

明石川が東部、瀬戸川が西部を南流し、ゾーンの中央から北西部にかけて多くのため池が分布しています。

また、このゾーンのため池の多くでオニバスの生息が見られ、特有の景観を形成しています。このオニバスはかつて各地の池で見られたが、池の埋め立てや水質の悪化で生息環境が脅かされ、兵庫県では絶滅危惧種とされている水草です。明石市江井ヶ島の新池、大池や稗沢池などのオニバス生息池が有名です。

写真



## ゾーンの歴史

大化改新以前より播磨地方には明石国の名が見られ、奈良期には明石大領大和統長宿禰などの官位も見られ、比較的早くから大和政権の海部として位置づけられていたようです。

このゾーンにおける新田開発は寛永16年(1639)の鳥羽新田に始まり、以後、松陰新田、大蔵谷、清水新田など次々に拡大され、新田開発とともに果敢な灌漑事業が行われました。なかでも寛永12年(1635)の西島・中島・森の3か村のための農業用水池として造成された寛政池、明暦(1657)明石川から林崎に水を引いた林崎掘割工事、さらにその水を枝溝により利用地を広げた鳥羽新田掘割や大久保掘割工事などが有名です。



林崎掘割水路



寛政池記功碑



新池(西島)



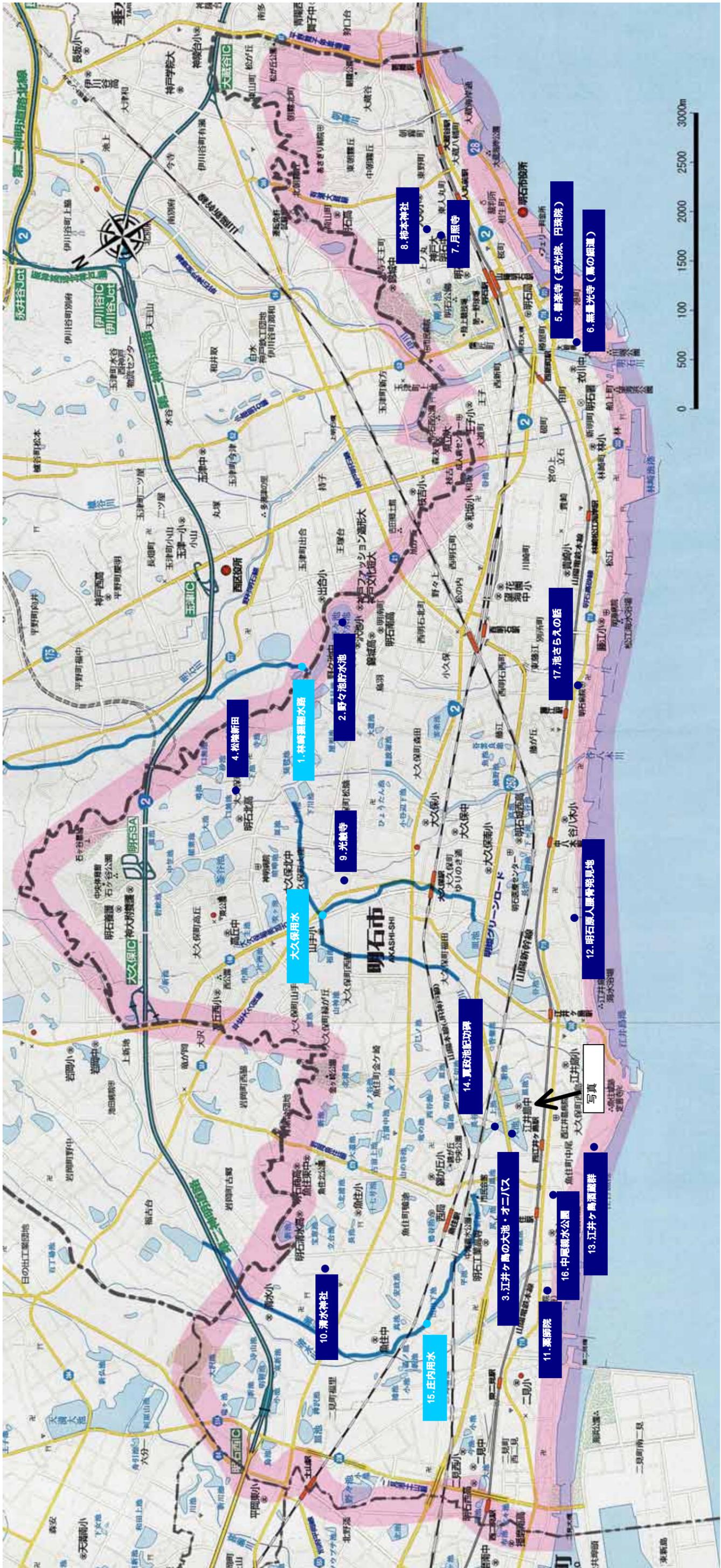
### オニバス

スイレン科の一年草である。葉や茎全体に1~3cmのトゲがあることから名前が付けられた。日本の水生植物中、最も大きな葉をつけ、大きなもので直径2mを超える。

環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧類(総数9000個体、減少率50%、100年後の絶滅確率約99%)とされている。



新池(江井島)



明石市  
AKASHI-SHI

大久保用水

写真

## ゾーンの主な見どころ

	資源（展示物）	所在地	概要
1	林崎掘割水路		干ばつに苦しんできた林崎地域の農民は、明石川の上流から水を引き、野々池に貯える計画をたてた。和坂村の測量師山崎宗左衛門は提灯を持った人を並べ、土地の高低を調査した。1657年（明暦3）冬、農民が力を合わせて工事にとりかかり、翌年（万治元）4月、全長5.4kmの用水路が完成した。
2	野々池貯水池	明石市明南町	明石市の都市近郊にふさわしい農村風景のなかで、周囲約2.1km、水面積14.5haの大きな貯水池。貯水池の北のほとりに明石市指定文化財（記念物）に指定された「林崎掘割渠碑」が立っており、毎年「掘割祭」が行われている。
3	江井ヶ島の大池・オニバス	明石市大久保町	江井ヶ島の大池は、日本でも有名なオニバスの生育地として知られている。
4	松陰新田	明石市大久保町	明石北高校の東から野々池にかけては広い田園地帯が続く。この辺りは、水源がなく土も悪かったため開発が遅れていたが、江戸時代に9つのため池が造られ、新田として整備された。現在でも、旧街道沿いには古い家並みや竹林が残り、のどかな光景が楽しめる。
5	善楽寺（戒光院、円珠院）	明石市大観町	明石で一番古い寺とされ、円珠院には、宮本武蔵が作庭したといわれる枯山水の庭園がある。
6	無量光寺（鶯の細道）	明石市大観町	「源氏物語」の主人公光源氏が、月見をした寺といわれ源氏物語にゆかりの深いお寺。
7	月照寺	明石市人丸町	境内には、八房の梅があり、月照寺の前には明石海峡や淡路島を一望できる展望台がある。
8	柿本神社	明石市人丸町	桜の名所でもあり、万葉の歌人「柿本人麻呂」を祀っている古社。
9	光触寺	明石市大久保町	源平合戦で平家について敗れた武将が、出家後巡礼中に建てたと言われ、その後播磨を代表する真宗寺院のひとつになった。現在でも、壮大な本堂や明石最大と言われる屋根瓦にかつての格式がしのばれる。また、豊臣秀吉の三木城攻めの時は陣が置かれたといわれ、境内には「太閤腰掛けの松」や池田輝政寄進の薬医門が残されている。
10	清水神社	明石市魚住町	田植えが終わった6月下旬に豊作を祈って行われる神事・おくわはんが有名。早朝から氏子代表の4人が羽織・袴姿で木のクワと金色の御幣を持って各田をまわるもので、市の指定文化財。この辺りは名前どおりよい水に恵まれ、江戸時代には三宿場町として栄えた。
11	薬師院	明石市魚住町	奈良時代にこの地を訪れた行基が、美しい景色を愛し寺を建てようと杖で地面を突いたところ、冷泉がわきだした。そこで、天皇に願い出て寺を建てたのがはじまりといわれている。現在では、ボタン寺としても有名で、春には2,000株が大輪の花を咲かせる。

12	明石原人腰骨発見地	明石市大久保町	日本最古の原人かという論争が行われた「明石原人」の腰骨発見地。
13	江井ヶ島酒蔵群	明石市大久保町	この辺りは気候と水に恵まれ、酒米の産地に近いことから、300年以上前から酒造りが行われてきた。「西灘」の通り名で知られ、珍しい地酒にはファンも多い。建ち並ぶ酒蔵は黒い焼板と白い漆喰が美しく、情緒がある。シーズンには酒造りの見学ができる所もある。
14	寛政池記功碑	明石市大久保町西島	1780年に完成した寛政池が、1893年の大干ばつから西島地区の住民を救ったことから、村人たちが先人の恩恵を称えるために堤防に建てた碑である。
15	庄内用水		江戸時代に造られた用水路で、瀬戸川から段丘崖に沿って水路が掘られ、江井ヶ島の3つの池まで続いている。その途中には、山川下池、平池、新池、皿池などのため池につながっている。
16	中尾親水公園	明石市魚住町	ため池の保全を図るとともに、水に親しめるように造られた公園。水遊び池、噴水、親水護岸、モニュメント、軽スポーツができる多目的広場などがある。貴重な水生植物の「ガガブタ」なども見られる。
17	「池さらえ」の話	明石市藤江	雲楽池の伝説で、何事も先を見通してやることの大切さが伝えられている。「池さらえをするには、網の目の荒いものがよい」と年寄りがいった。しかし、若者は「網の細かいものでなければ、魚が逃げる」からと聞かなかった結果、細かい目に泥が詰まり、網が重く動かせなくなり、大きな魚を前に捕獲できなかった話である。